

農薬登録品を散布するときのご注意

希釈の仕方（液剤）

〈例〉

適用作物・適用場所と使用方法							
作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		使用方法	総使用回数※
				薬量	希釈水量		
果樹類 (キウイ、 パイナップル を除く)	—	一年生及び 多年生雑草	雑草成育期 (草丈30cm以下 但し、収穫7日前まで)	0.4~0.6 mℓ/m ²	100 mℓ/m ²	雑草茎葉 散布	3回 以内
			雑草生育期(草丈 30cm以下)(耕起ま たは収穫7日前)				1回
だいごん	畑地	一年生 雑草	雑草生育期(草丈 30cm以下)(耕起ま たは収穫7日前)	0.5~1 mℓ/m ²	1~2 mℓ/m ²	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に雑草 茎葉散布	3回 以内
キャベツ			雑草生育期(草丈 30cm以下)(耕起ま たは収穫7日前)				1~2 mℓ/m ²
植木等	公園、庭園、 堤とう、 道路、宅地、 鉄道、のり面、 運動場 等	一年生及び 多年生雑草	雑草生育期 (草丈50cm以下)	0.5~1 mℓ/m ²	1~2 mℓ/m ²	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に雑草 茎葉散布	3回 以内
			スギナ				雑草生育期 (草丈30cm以下)

※は本剤及びグリホサート、ピラフルフェンエチルを含む農薬の、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

希釈の方法は、薬量に対する水の量で記載されています。たとえば、このパッケージの樹木等でスギナを枯らす場合は、「水100mℓに薬液を1~2mℓ入れて希釈し1m²に散布してください」という意味になります。これは倍率にすると50~100倍希釈になります。下記の図を参考にしてください。

図：薬量・希釈水量・倍率の関係

薬量	希釈水量	倍率
0.4mℓ	100mℓ	250倍
0.5mℓ		200倍
0.6mℓ		167倍
1mℓ		100倍
2mℓ		50倍

適用雑草と使用方法						
作物名・ 適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	以下の薬剤を 含む農薬の 総使用回数
樹木等 公園、庭園、 駐車場、道路、 運動場、鉄道、 宅地 等	一年生雑草	雑草発生前	10~20kg/10a	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周 辺地に全面 土壌散布	インクロン DBN DCMU
		成育初期 (草丈20cm以下)	7.5~10kg/10a			3回以内
		多年生広葉雑草 スギナ	雑草発生前~成育初期 (草丈20cm以下)			10~20kg/10a

除草剤の適用表では、使用量をkg/10aで記載する場合があります。これは「10aに何kgの薬剤を散布してください」という意味です。10a=1,000m²、1kg=1,000gですので、「1m²あたり何g散布」と読み変えることができます。

上記パッケージ例

「10aに対して10~20kgを散布」は、「1m²に対して10~20gを散布」と読んでください。



代表的な面積の単位：1a(アール)=100m² 1坪(つぼ)=約3.3m² 1反(たん)=約300坪=約992m² 1畳(じょう)=約0.5坪=約1.65m²

クスリを間違えて飲んだり食べたりしてしまったら！
(財)日本中毒情報センター 中毒110番

大阪 072-727-2499
年中無休・24時間対応

つくば 029-852-9999
年中無休・9時~21時対応

中毒110番は急性中毒に関する情報提供機関です。製品に関するご質問はレインボー薬品(03-6740-7777 土・日・祝休み、平日9:00~17:00)までお問い合わせください。

農薬のラベルには「効果・薬害などの注意」と「安全使用上の注意」を記載するように義務付けられています。そしてさらに注意を促すための注意喚起マークを絵表示で表しています。主な絵表示マークは下記の通りです。

農薬の取り扱い説明についているマーク

マスク着用	メガネ着用	不浸透性 手袋着用	河川流出禁止 (魚介類注意)	施設内使用禁止 ハウス内など噴霧 のこもりやすい場 所では使わない